

クビアカツヤカミキリ成虫の発生時期になりました！

もも・すもも・うめにおける防除のポイント

特定外来生物クビアカツヤカミキリは、2016年に栃木県内で成虫が初めて確認され、現在は足利市、佐野市、栃木市に分布を拡大しています。

本害虫は、幼虫がもも、すもも及びさくら等の幹内部を食害することで、樹木が衰弱・枯死する被害を生じます。幼虫による被害を受けた樹木の株元には、5月頃からフラス（フンと木くずの混ざった物：写真1）が多く見られるようになります。また、6月から8月にかけて成虫（写真2）の発生時期となるため、早期発見と早期防除に努め、被害の拡大を防ぎましょう！



写真1 モモ被害樹株元のフラス

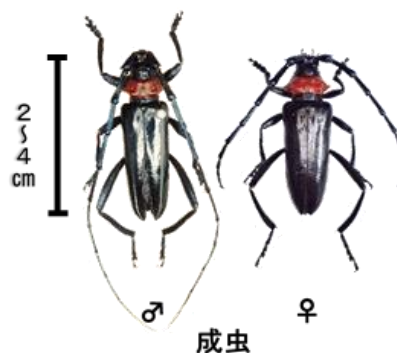


写真2 クビアカツヤカミキリ成虫

1 防除対策のポイント

(1) 成虫の防除

もも・すもも等では成虫発生時期と収穫期が重なるため、農薬の収穫前日数や散布回数に注意する。収穫期間中は、収穫前日まで使用できる薬剤を定期的に散布し、収穫終了後は、収穫前日数の長い薬剤で防除する（表1）。併せて、園内を見回り、成虫を見つけたら捕殺する。

また、羽化した成虫の分散を防止するため、被害樹の樹幹部にネット巻きを行い、定期的にネット内の成虫を踏みつぶす等して殺虫する。

(2) 幼虫の防除

フラスが排出される幼虫食入孔を見つけた場合には、針金や千枚通し等でフラスを掻き出し、針金で幼虫を刺殺するか、幼虫を防除対象とした薬剤を使用する（表2）。食入孔に薬剤を注入する際は、薬剤が食入孔から滴るまで十分量を注入する。

(3) 被害木伐採後の処置について

2019年4月1日、栃木県ではクビアカツヤカミキリ被害木の伐採後の処置方法が定められました。伐採木の運搬や保管には、逸出防止措置が必要です。伐採木は原則9月～翌年の4月の期間中に処分してください。園地において、被害木を処分することになった場合は、各農業振興事務所にご相談ください。

- [クビアカツヤカミキリ防除対策マニュアル](#)では、写真付きで防除方法を掲載しています。
- クビアカツヤカミキリを発見した場合は、農業環境指導センター（TEL：028-626-3086）までご連絡ください。（[クビアカツヤカミキリ注意喚起チラシ](#)）

（注）本種は特定外来生物に指定されており、生きた虫の飼育、運搬、放虫等が法律で禁止されています。

★ クビアカツヤカミキリの防除薬剤（令和元(2019)年5月24日現在）

表1 成虫発生時期に使用する薬剤（収穫前の日数のごとに色分けした。）

作物名	農薬の名称	使用時期	希釈倍数 使用量	使用方法	本剤の 使用回数	RAC コード
もも	アクタラ顆粒水溶剤	収穫前日まで	2000倍	散布	3回以内	E4A
	モスピラン顆粒水溶剤	収穫前日まで	2000倍	散布	3回以内	E4A
	テッパン液剤	収穫前日まで	2000倍	散布	2回以内	E28
	スプラサイド水和剤	収穫21日前まで	1500倍	散布	2回以内	E1(B)
	スプラサイドM	収穫60日前まで	200倍	樹幹部及び主枝に散布	2回以内	E1(B)
すもも	モスピラン顆粒水溶剤	収穫前日まで	2000倍	散布	3回以内	E4A
	テッパン液剤	収穫前日まで	2000倍	散布	2回以内	E28
	スプラサイド水和剤	収穫14日前まで	1500倍	散布	2回以内	E1(B)
うめ	アクセルフロアブル	収穫前日まで	1000倍	散布	3回以内	E22B
	モスピラン顆粒水溶剤	収穫前日まで	2000倍	散布	3回以内	E4A
	アクタラ顆粒水溶剤	収穫7日前まで	2000倍	散布	2回以内	E4A
	スプラサイド水和剤	収穫14日前まで	1500倍	散布	2回以内	E1(B)
果樹類	バイオリサ・カミキリ* (生物農薬)	成虫発生初期	1樹当り1 本	地際に近い主幹の分枝 部分等に架ける	-	E未

表2 幼虫の食入孔に使用する薬剤

作物名	農薬の名称	使用時期	希釈倍数 使用量	使用方法	本剤の 使用回数	RAC コード
うめ	バイオセーフ	幼虫発生期	2500万頭(約10g)	木屑排出孔を中心に薬液が滴るまで樹幹注入	-	E未
	ベニカカミキリムシ エアゾール*	収穫前日まで		樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射	5回以内	E3(A)
	ロビンフード*	収穫前日まで		樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射	5回以内	E3(A)
もも	バイオセーフ	幼虫発生期	2500万頭(約10g)	木屑排出孔を中心に薬液が滴るまで樹幹注入	-	E未
	ベニカカミキリムシ エアゾール*	収穫前日まで		樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射	5回以内	E3(A)
	ロビンフード*	収穫前日まで		樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射	5回以内	E3(A)
果樹類	ベニカカミキリムシ エアゾール*	収穫前日まで		樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射	5回以内	E3(A)
	ロビンフード*	収穫前日まで		樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射	5回以内	E3(A)

*カミキリムシ類に登録のある薬剤

詳細は、農業環境指導センター（Tel 028-626-3086）までお問合せ下さい。
 病害虫情報発表のお知らせは「農政部ツイッター(@tochigi_nousei)」、農業環境指導センターホームページ（<http://www.jpnp.ne.jp/tochigi/index.html>）でもご覧になれます。